

栃木県（栃木県芳賀町）

R6補正
R7当初

18

背景・課題

芳賀町のトマトでは、タバココナジラミの媒介するトマト黄化葉巻病の発生による収量低下が問題となっている。主に化学農薬による防除が実施されているが、薬剤感受性の低下により防除に苦慮している。

そのため、天敵製剤タバコカスミカメと天敵温存植物の活用による化学農薬の使用量及び農薬散布回数の削減について検証する。

成果目標

天敵のタバコカスミカメと天敵温存植物の活用による化学農薬の使用量の削減及び防除の省力化
0.3ha（令和7年度）→1ha（令和12年度）

主な取組内容

- 天敵導入により、化学農薬の使用回数を減らすことができ、省力化につながった。
- 特に春先のコナジラミ類の増加によるトマトの被害を抑制できた。
- 一方で、生育初期のコナジラミ類の発生を抑えることが難しかったため、天敵を放飼するタイミングや使用薬剤の選定については検討が必要である。



芳賀町

構 成 員

農業者、J Aはが野、芳賀農業振興事務所

品 目

トマト

【病害虫】



◀ トマトの主要病害であるトマト黄化葉巻病。減収の主要因の一つであり、タバココナジラミにより媒介される。

コナジラミ類は薬剤に対する感受性が低下しており、化学農薬による防除が困難となっている。



【天敵】

天敵製剤タバコカスミカメの成虫（左）と幼虫（右）



◀ 天敵温存植物のクレオメ

天温放飼の様子。▶ 定着促進のため、トマト株上に餌ひもを設置した。



今後の取組

農家の経営状況や栽培計画、本県産地の栽培条件を考慮し、天敵製剤を利用した、より効果的な防除体系を検討するとともに、トマト生産者や生産組織に対して、栽培マニュアルの配付や研修会での事例紹介を通じて当該技術の普及を図る。

問い合わせ先

栃木県芳賀農業振興事務所経営普及部

〒321-4305 栃木県真岡市荒町116-1

TEL：0285-82-3074 Mail：haga-nsj@pref.tochigi.lg.jp